

愛する地球のために約束する草津市条例 前文改正素案

資料 3

今回の前文改正部分は、現状にそぐわなくなった春夏秋冬の冒頭部分と、条例の目的、趣旨に影響する部分を改正する。

| 案1 | 案2 |
|--|--|
| <p>【改正の内容】 ①気候変動への適応 ②地球温暖化に関する要因と現状(影響) ③2050年の将来像(脱炭素社会、温室効果ガス排出量マイナス80%) ④SDGsの理念 ⑤パリ協定</p> <p><u>2050年、太陽光や風力などの自然エネルギーが普及し、地球温暖化を防ぐ技術も進み、豊かな地球の恵みを受け、経済・社会・環境のバランスが取れた生活や社会の営みが送られています。③④</u></p> <p><u>しかし現在、これまでの100年間で、私たち人間の生活や社会活動などから出される温室効果ガスが増え、日本の平均気温は1.19度上昇し、今までにない猛暑や大雨などの異常気象が増加しています。②</u></p> <p><u>世界では、約200年前と比べて世界の平均気温の上昇を2度より十分に下回るようにすること、そのため石油や石炭などの化石燃料に頼らない社会を目指すことを多くの国が約束しました。⑤</u></p> <p><u>2050年の未来を目指し、③今こそ、私たち人間は、地球上の生あるすべての中の一員として、限りなく持続可能な共生④を続けていくために、何を行わなければならないのか真剣に考え、行動することが求められています。</u></p> <p>身近なことから、できることから、地球のために良いことを始める「私たち一人ひとりが自ら進んで、あるいは多くの人たちが手と手を取り合って」そして自然の摂理を大切にし、地球を愛し続ける決意を込めて、<u>地球温暖化を防ぐとともに気候の変動に適応する①</u>ための条例を制定します。</p> | <p>【改正の内容】 ①気候変動への適応、 ②地球温暖化に関する要因と現状(影響)</p> <p><u>私たちの日々の暮らしの中で、豊かさ、便利さ、快適さを求めてきたことが、二酸化炭素などの温室効果ガスを増やし、地球温暖化が進むことで、地球はさまざまな影響を受けています。</u></p> <p><u>夏は非常に暑い日が、冬は暖かい日が以前より多くなっています。地球温暖化が進むと気温の上昇、海面の上昇や洪水、異常気象がおきる回数が増えるなど、私たちの暮らしや社会、地球上の生き物は、大きな被害を受けることになります。②</u></p> <p>今こそ、<u>私たち人間は、地球上の生あるすべての中の一員として、限りなく持続可能な共生④を続けていくために、何を行わなければならないのか真剣に考え、行動することが求められています。</u></p> <p>身近なことから、できることから、地球のために良いことを始める「私たち一人ひとりが自ら進んで、あるいは多くの人たちが手と手を取り合って」そして自然の摂理を大切にし、地球を愛し続ける決意を込めて、<u>地球温暖化を防ぐとともに気候の変動に適応する①</u>ための条例を制定します。</p> |

| 案3 | 案4 |
|---|--|
| <p>【改正の内容】 ①気候変動への適応 ②地球温暖化に関する要因と現状(影響)</p> <p><u>私たちの住むこの地球は日々姿を変えています。</u></p> <p><u>地球温暖化が進み、気温上昇による気候変動によって、海面の上昇や洪水、異常気象がおきる回数が増え、各地で生き物の住む場所が変わり、人間の生活も脅かされています。</u></p> <p><u>この愛する地球が、この先、何年も笑顔でいられるように、力を合わせて、地球を守り、自分たちを守らなければなりません。①②</u></p> <p>今こそ、<u>私たち人間は、地球上の生あるすべての中の一員として、限りなく持続可能な共生④を続けていくために、何を行わなければならないのか真剣に考え、行動することが求められています。</u></p> <p>身近なことから、できることから、地球のために良いことを始める「私たち一人ひとりが自ら進んで、あるいは多くの人たちが手と手を取り合って」そして自然の摂理を大切にし、地球を愛し続ける決意を込めて、<u>地球温暖化を防ぐとともに気候の変動に適応する①</u>ための条例を制定します。</p> | <p>【改正の内容】 ①気候変動への適応 ⑥四季の情景</p> <p><u>春、桜の花が咲き、日の温かさを感じます。</u></p> <p><u>夏、青空のもと、人も生き物も、活動しています。</u></p> <p><u>秋、夜になると、虫の音色が聞こえてきます。</u></p> <p><u>冬、琵琶湖で渡り鳥が羽を休めています。</u></p> <p><u>日本には四季があり、四季それぞれの自然は、わたしたちの五感を楽しませてくれます。</u></p> <p><u>この素晴らしい四季の風景を、未来へ受け継いでいくために、⑥こそ、</u><u>私たち人間は、地球上の生あるすべての中の一員として、限りなく持続可能な共生④を続けていくために、何を行わなければならないのか真剣に考え、行動することが求められています。</u></p> <p>身近なことから、できることから、地球のために良いことを始める「私たち一人ひとりが自ら進んで、あるいは多くの人たちが手と手を取り合って」そして自然の摂理を大切にし、地球を愛し続ける決意を込めて、<u>地球温暖化を防ぐとともに気候の変動に適応する①</u>ための条例を制定します。</p> |